

# カゴノキ

*Litsea coreana* H.Lév.  
クスノキ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育地、個体数とも少ない。

## 分 布

本州（関東地方・福井県以西）～九州に分布。県内では嶺南地方の一部で確認されている。

## 種の特徴

暖地に生える常緑高木。高さ15mにもなる。幹の樹皮はまだにはげ落ちる。葉は互生し、枝の先にやや車輪状に集まり、長さ5～9cm、幅1.5～4cm。9月、葉腋に無柄の散形花序を付ける。雌雄異株。雄花序は花が大きくやや多く付き、雌花序は花が小さく少ない。

## 生育を脅かす要因

森林伐採などによる生育環境の消失や悪化のほか、産地が限られていることによる。

参考文献 佐竹義輔ほか (1989a)、福井県植物研究会 (2001)  
福井県樹木誌 (2011)

市町別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○		○	○											

# ショウブ

*Acorus calamus* L.  
ショウブ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

圃場整備、用水路改修などによる生育環境の消失や悪化により減少している。

## 分 布

北海道～九州に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

## 種の特徴

水辺に群生する多年草。根茎は横に這ってよく分枝し、節から多数の根を出す。植物体に芳香がある。葉は長さ50～100cm、幅10～20mm、中肋が突出する。5～7月頃、葉より短い花茎を出し、長さ4～7cmの花序を付ける。苞は長さ20～40cm、幅5～8mm。

## 生育を脅かす要因

圃場整備、水路改修、埋め立て、植生遷移などによる生育環境の消失や悪化。

参考文献 佐竹義輔ほか (1982a)、福井県自然保護課編 (2004)  
福井県植物研究会 (1997)

市町別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○					○				○	○	○	○	○	○	○	○

# ヒロハテンナンショウ (アシウテンナンショウ型)

*Arisaema ovale* Nakai var. *ovale*  
サトイモ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

本県を分布限界とし、生育地が限られ、個体数が少ない。

## 分 布

本州（中部地方と近畿地方の日本海側）に分布する。県内では嶺南、嶺北、奥越地方で広く確認されている。

## 種の特徴

山地森林やその林縁に生える多年生草本。植物体の高さ20～50cm。葉は普通1個。葉身は鳥足状に普通5全裂ときに7裂。仏炎苞が濃紫色～帶紫色のものはアシウテンナンショウと呼ばれていた。

## 生育を脅かす要因

森林伐採、林道の拡幅や新設などの開発工事による生育環境の破壊マニアによる園芸用採取。

参考文献 佐竹義輔ほか (1982a)、福井県植物研究会 (1997)、  
福井県植物研究会 (1998)

市町別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○	○			○		○	○	○	○	○	○	○